

「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア

学年・単元名

第5学年 「注文の多い料理店」(東京書籍)

単元構想

指導例「『注文の多い料理店』評」を取り入れて

第一次

1 宮沢賢治について知り、作品を読もうとする意欲をもつことができる。

2 「注文の多い料理店」のおもしろさについて、初発の感想を書くことができる。

3 学習に対しての見通しをもつことができる。



第二次

1 時・場・出来事・人物の行動や気持ちなどに気を付けて、場面に分けることができる。

2 二人の紳士の装いや言動を表す言葉から、人物像を考えることができる。

3 視点を変えて文章を読み、表現のおもしろさを見付けることができる。

〈読む視点〉

4 ・紳士の視点から読む

・山猫の視点から読む

5 ・情景描写に着目して読む

本時
(第7時)

指導例「『注文の多い料理店』評」

6 資料の比較を通して、表現の違いとおもしろさをとらえることができる。

7 作品の構成や表現上の特色を踏まえ、自分の考えをもつことができる。

第三次

1 宮沢賢治の他の作品を読み、「解説ノート」作りの見通しをもつことができる。

2 宮沢賢治の作品の構成や表現の工夫など、自分が読んで考えた作品のおもしろさについて、「解説ノート」に書きまとめることができる。

3 「解説ノート」の内容について、自分の考えと比べながら交流することができる。

4 「解説ノート」の内容について、自分の考えと比べながら交流することができる。

押さえない指導のポイント



- 原文と原文に類似した文章を比較して読み、文章表現に違いのあることに気付かせる。
- 原文と原文に類似した文章を比較して読ませることにより、原文の比喩表現や例示の効果に気付かせる。
- 作品（原文）の描写について評価しながら読ませ、自分の考えをもたせる。
- 自分の考えを、条件に合わせて書きまとめさせる。